

第二回 天草地域対抗のど自慢大会のお知らせ

前回初めての試みで実行されました、のど自慢大会におきましては、出演者の皆様関係各位の多大なご支援、ご協力を頂き、大成功を収める事ができました。ひとえに皆様のおかげと心より御礼申し上げます。

これを、恒例行事として定着と発展を願ひまして、平成31年度の大会を次の通りご案内させていただきます。まさに記念すべく『平成』最後の催事として、地域会の皆様には、一層のご後援を賜ります様宜しくお願い致します。

仕様ご案内

- 開催日・時 平成31年2月3日（日） 12：00開場 12：30開演
(AM11:00からロビー使用可)
- 場 所 深川江戸資料館 2F 小劇場（前回と同じです）
〒135-0021 東京都江東区白河1-3-28
TEL：03-3630-8625（会場お問合せは坂川事務局長まで）
- アクセス 都営大江戸線・メトロ半蔵門線：清澄白河駅下車徒歩3～5分
都営バス（門前仲町駅前より）門33番線： ”
- 出演条件 地区別対抗として、天草出身者とその縁故者
- 入場料 出演者、観客共 お1人様 1,000円（18才未満無料）
- 内 容 演歌・フォーク・ポップス・ロック等カラオケ音源があれば
ジャンル不問
- 各部門賞 ①少年の部 5歳～17歳 ②青年の部 18歳～44歳
③壮年の部 45歳～69歳 ④熟年の部 70歳以上

☆ 審査員 4名（各レコード会社の先生を予定）の適正な採点集計により、部門賞決定。各地域、上位3名の採点合計により、総合優勝チームを決定。

☆ 上位各位には、トロフィー・盾等を授与し深く栄誉を称える。

地域会の皆様には、大変お手数をおかけしますが、前回に増して何卒ご足労下さいます様、重ねてお願い申し上げます！！

東京天草郷友会 会長 堺 亜流

〒132-0021 東京都江戸川区中央2-1-21 国土緑化(株)内

【お問合せ】事務局 坂川 武 090-5795-3939 まで

第二回 天草地域対抗のど自慢大会 参加申込書

(下記に必要事項をご記入ください。※は必ずご記入ください。)

所属の地域会名		出身地	
参加者名	ふりがな	年齢	歳
保護者の氏名 ※少年(少女)の場合	ふりがな	参加形態	個人・グループ (合計 人)
性別	男 ・ 女	参加部門	① ② ③ ④
住所	〒		
TEL		FAX	
曲名		アーティスト名	
【備考及び通信欄、自己PR等にご使用下さい】			

※ 3名様、又は3組様（それ以上は補欠）をご推薦、お申し込みください。

- 応募者多数の場合は抽選となります。
- 応募要項 申し込み締め切り 2018年12月25日
- 応募定員 約40組～50組を予定。
- 応募方法 上記申込書に記入し、このまま郵送 又は FAXかメールで受付します。

[宛 先] 東京天草郷友会 TEL&FAX 03-3651-1193

Mail info@amakusa-gouyuukai.com

〒132-0021 東京都江戸川区中央2-1-21 国土緑化(株)内

○ お問い合わせ 同事務局 坂川 武 090-5795-3939

第1回 天草地域対抗



審査員の先生方です。



堺会長よりのど自慢大会で天草 郷友会を更に盛り上げたいとのご挨拶でした。



尚、来年も2月3日(日)深川江戸資料館で開催しますので、皆様の御出場と観客動員のご協力を何卒どうぞ宜しくお願い致します。

のど自慢大会



開催される!

東京天草郷友会、堺新体制の目玉イベントとも言える、東京天草郷友会主催の第1回天草地域対抗のど自慢大会が、去る平成30年2月3日(土)15時から、江東区 深川江戸資料館の小劇場で開催されました。各地区代表45名の歌手が勢ぞろいし、前半の部と後半の部に休憩を挟んで、少年少女の部、青年の部、壮年の部、熟年の部の錚々たるメンバーによって、大勢の観客の声援と共に会場は大いに盛り上がり、初めての試みにも関わらず大変白熱したのど自慢大会でした。

審査委員長には玉田元康 ポニージャックスリーダー(本渡)、審査委員には見咲えつ子 キングレコード(本渡)、天草二郎 日本クラウン(有明)、堺 亜琉 東京天草郷友会会長(龍ヶ岳)の4名の方々をお願いいたし、厳正なる審査の結果は以下の通りとなりました。

優勝者

- ◎少年少女の部 飯島美月ちゃん(6歳)(姫戸)さんぽ(となりのトトロ)(秋山カズ)
- ◎青年の部 木下有彩さん(御所浦) Precious(プレシャス)(伊藤由奈)
- ◎壮年の部 濱崎淳一さん(有明) 冬港(静太郎)
- ◎熟年の部 三宅篤子さん(河浦) この世の花(島倉千代子)
- ◎特別賞 岩下幹子さん(龍ヶ岳) UFO(ピンク・レディー)
- ◎地区別対抗 有明町の皆さん

審査委員長の玉田元康先生、審査委員の見咲えつ子先生、天草二郎先生、堺会長からは、それぞれ審査のご講評と本日のご感想を戴きました。印象的なお言葉として、玉田先生からは「天草の皆さんによる今回ののど自慢大会にお招き頂いて大変満足しました、これから先も続けていただきたい」とお褒めのお言葉がありました。見咲先生からは「歌う時には聴き手に歌詞の言葉がはっきり伝わるのが大事である」「歌詞を暗記して歌ったら更に上手くなる」と、専門家としての貴重なご意見とご感想を戴きました。天草二郎先生は「審査員という立場を初めて経験させていただき、いつも舞台に立つプロの歌手として逆に勉強させて頂きました」とコメントがありました。堺会長からは「この初めてののど自慢大会という企画が成功するか、観客席や舞台の様子が最後まで大変気になりました」と主催者代表として感慨無量のお言葉がありました。また表彰式では、柴田・桁山両副会長、内田女性部長により表彰者に花束の贈呈があり、最後には荒木副会長より閉会のお言葉がありました。東京天草郷友会で初めての試みでもあった今回ののど自慢大会でしたが、主催者側も不慣れな中で、審査員の皆様、ご来場の皆様によるご協力、ご声援が、今回の盛大な催しを成功裏に収めた要因であったと思われた次第です。以上

稲田 彰典



拳(こぶし)の入った歌手さんの熱唱に審査員も驚き!



荒木副会長による各受賞者の皆さんへのお褒めのお言葉